

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人深堀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>語学(英語科目)、専門科目(ICT、貿易・航空、ホテル・観光)、PC関連科目のそれぞれの専任教員によるミーティングを持ち、科目設定、テキスト選定、授業内容、授業運営について年度開始前に話し合いをして基本ラインを決めている。担当教員が担当する科目の特性を理解し、基本ラインに基づいて到達目標を定め、シラバスを作成する。</p> <p>成績評価方法については、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等のいずれか、もしくは組み合わせで評価点を出すこと授業開始時に各教員が定め、シラバスに記入をしている。</p> <p>シラバス作成時期：3月下旬、9月上旬 シラバス公表時期：4月中旬、9月下旬</p>	
授業計画書の公表方法	Google Classroom での配布
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学科・コースの担任が随時個人面談を行い、学習意欲の把握をし、アドバイスを行っている。担当教員が定めた評価方法に従い、それぞれの項目において評価点を出し、学期末に100点満点となるよう集計し、教務に提出をする。科目の評価はシステムで管理され、単位認定を行っている。60点未満の評価を受け、単位認定がされなかった場合は、課題レポートの再提出、再試験等のチャンスを与えている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA 指標は下記になります。</p> <p>[国際 ICT・観光学科／グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)]</p> <p>100-90 S 4.0 89-80 A 3.0 79-70 B 2.0 69-60 C 1.0 59 以下 不可</p> <p>$(S \text{ 取得単位数} \times 4) + (A \text{ 取得単位数} \times 3) + (B \text{ 取得単位数} \times 2) + (C \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$</p> <p>[ビジネス日本語学科]</p> <p>100-90 S 5.0 89-80 A 4.0 79-70 B 3.0 69-60 C 2.0 59 以下 D 1.0</p> <p>$(S \text{ 取得単位数} \times 5) + (A \text{ 取得単位数} \times 4) + (B \text{ 取得単位数} \times 3) + (C \text{ 取得単位数} \times 2) + (D \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>[国際 ICT・観光学科／グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)/ビジネス日本語学科]</p> <p>4年課程---124単位 2年課程---62単位 1年課程---31単位</p> <p>単位認定は、成績並びに出席状況を確認し行っている。半期ごとに学生ごとの単位取得状況を把握し、次学期又は次年度の履修指導を行い、卒業認定の際の単位不足などによる卒業不可の状況が起こらないように取り組んでいる。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表